

# 自分の考えや思いを英語で伝え合うことに喜びを感じる児童生徒の育成をめざして

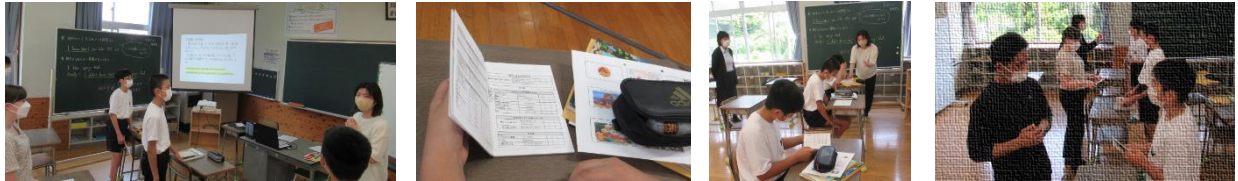
越ヶ浜中の  
英語の取組

## ☆スピーキング力の向上 ～知識の活用をより意識させたパフォーマンステスト～

### 1年生

『アメリカの中学1年生とオンラインで繋げ、お互いを知ってもらうために自己紹介をしよう』という設定の下、約1週間継続的に練習に取り組みました。

練習の後には、ふり返りと気づきを記入し、『課題の克服のために改善すること』や『より良くするためにどうすればよいか』を考え、次につなげました。回を重ねるごとに、内容も英語表現も向上し、「1分30秒が短く感じた。もっと話したい。」という感想が出るほど、充実したやりとりができるようになったという実感が得られたようです。



### 2年生

毎時間のスマールトークで、「トピックが変わっても会話を続ける」ための汎用性の高い表現を練習してきました。この日は、それらの「知っている知識」をどれだけ「活用できるか」ということを目標に、ALTの先生とのトピックトークを行いました。「もし旅行に行けるなら、どこに行きたいか（理由とともに）」「なぜ日本のアニメは人気なのか」など、3つのトピックについてトークを行いました。

みんな、汎用性の高いフレーズをきれいにスマールブックにまとめており、着実に表現のストックは増えています。「Have you ever …?」「I have never been to …」など、上級学年で学ぶ文法も自分から進んで使う場面が見られ始めています。



### 3年生

初めての出会いというテーマの下『新しいALTの先生との出会い』『新幹線で隣の席に座っている外国人との出会い』『短期留学で越中3年生のクラスメイトになったアメリカ人留学生との出会い』の3つの設定に取り組みました。

始めたばかりのころは”Hello. My name is OO. What’s your name?”程度しか話せず、時間を持て余していましたが、『この場面ならどう話しかけたら自然かつ相手に失礼がないだろう?』『どのような内容で会話することが考えられる?』とみんなで一緒に考えながら何度も繰り返し練習していくことで、“自然な会話の始まり方・終わり方と、会話の流れを意識して”やりとりをすることができるようになりました。



今回のパフォーマンステストに向けての活動を通して、どの学年も“会話の内容にこだわる”“自然な会話の流れを意識する”“バランスの良い会話のキャッチボールを続ける”ことへの意識が高まりました。

オールイングリッシュクラスやモジュール学習における異学年交流などでも、回を重ねるごとに、全校みんなで英語力を高めているという気運が高まっているように感じます。今後も様々なトークテーマでやりとりを行います。今回学んだことを生かして会話力に磨きをかけてほしいと思います。